

＜今日の説教のポイント ヨハネによる福音書1～12節＞

1 主イエスの「最初のしるし」(11) — 神の新しい創造の業の開始！

福音書記者ヨハネは、イエス様が宣教の公生涯の最初に起こされた出来事は水をぶどう酒に変えられる出来事であったことに注目せよ、と語りかけています。それは言い換えると、神様はこのイエス様によって新しい創造の業を開始されたのだ、と伝えようとしているのです。すると、意味がよく分からない幾つかの内容も見えて来ます。

2 (1-5) イエス様と母マリアのちぐはぐに思えるやり取りの真意は？

まず最初の舞台が結婚式であることに注目です。旧約聖書では、結婚は主なる神様が恵みに満ちた信頼関係を人間と結んで下さった幸いの中にある状態を表しています。さらに1に記したことを思うなら、この場面の中でイエス様と母マリアの間でなされた一見ちぐはぐに思える会話から聞き取るべきことは、① (3-4) イエス様 (神様) に願い事をする時は謙虚さを持って。② (5) イエス様 (神様) が命じられたことには従うのが最善。そのようなメッセージが見えて来ます。

3 (6-11) 「6つ」の水がめの「水」が「ぶどう酒」に変わる意味。

ここでイエス様が起こされた水をぶどう酒に変える奇跡も、旧約聖書以来の背景を考えると、単に不思議なことが起こったというだけではない、もっと深い意味が見えて来ます。まず、聖書では7つが完全数で6つは欠けていることを意味しています。また、水は「ユダヤ人が清めに用いる水がめ」(6)とあるように、聖書の民にそれまで与えられていた神様の恵み(十戒を中心とした教え：ユダヤ教)と深く関係しています。よって、その水が変化した「ぶどう酒」は、イエス・キリストによって神様がもたらして下さった新しい恵み(キリスト教)を意味しているのです。「このぶどう酒がどこから来たのか…知っていた…知らなかった」(9)、「よいぶどう酒を今まで取っておかれました」(10)、という表現で、福音書記者ヨハネは、神様が送られたイエス・キリストによって、神様の新しい創造の業が開始されたのだ、すなわち、罪深い人間を赦し、神様と共にまた生きる道が開かれたのだ！、と語りかけているのです。最後の11節には、「イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現わされた。それで、弟子たちはイエス・キリストを信じた」、とあります。私たちも彼らに続いて信じる者となったのです！